

宮城県高齢者人口調査の結果について

1 調査の目的

この調査は、県が策定している「宮城県高齢者福祉計画」等、各種施策推進の基礎数値として活用するため、県における高齢者人口の動向等を把握するものである。

2 調査の主体 宮城県

3 調査の方法 各市町村の住民基本台帳を基に各市町村で調査した数値を集計

4 調査時点 令和 8 年 3 月 3 1 日現在

5 調査結果の概要

(1) 高齢者人口（65歳以上）の状況……………表 1

高齢者人口は660,900人となっており、総人口が0.7%減少したのに対し、高齢者人口は0.4%増加している。

(2) 高齢化率（総人口に対する65歳以上の割合）の状況……………表 2－1

高齢化率は30.1%で前年と比較して0.4ポイント上昇している。

【参考】全国の高齢化率は29.4%（令和 7 年 1 0 月 1 日現在）

① 広域圏別高齢化率の状況……………表 2－2

高齢化率が一番高いのは栗原圏域(43.9%)で、次いで気仙沼・本吉圏域(41.9%)、登米圏域(39.0%)、仙南圏域(36.9%)、大崎圏域(35.3%)、石巻圏域(35.2%)、仙台圏域(26.6%)となっている。

② 市町村別高齢化率の状況……………表 2－3

高齢化率が一番高い市町村は七ヶ宿町(45.8%)及び丸森町(45.8%)で、次いで栗原市(43.9%)、山元町(42.5%)、気仙沼市(42.0%)の順で、県内7割以上の27市町村が30%を超えている。

一方、高齢化率が一番低い市町村は、富谷市(23.5%)で、次いで大和町(24.4%)、名取市(24.9%)、仙台市(25.7%)、多賀城市(26.2%)の順となっている。

(3) 在宅のひとり暮らし高齢者（65歳以上）の状況……………表 3

在宅ひとり暮らし高齢者数は168,259人で、65歳以上の高齢者人口に占める割合は25.5%となっている。